

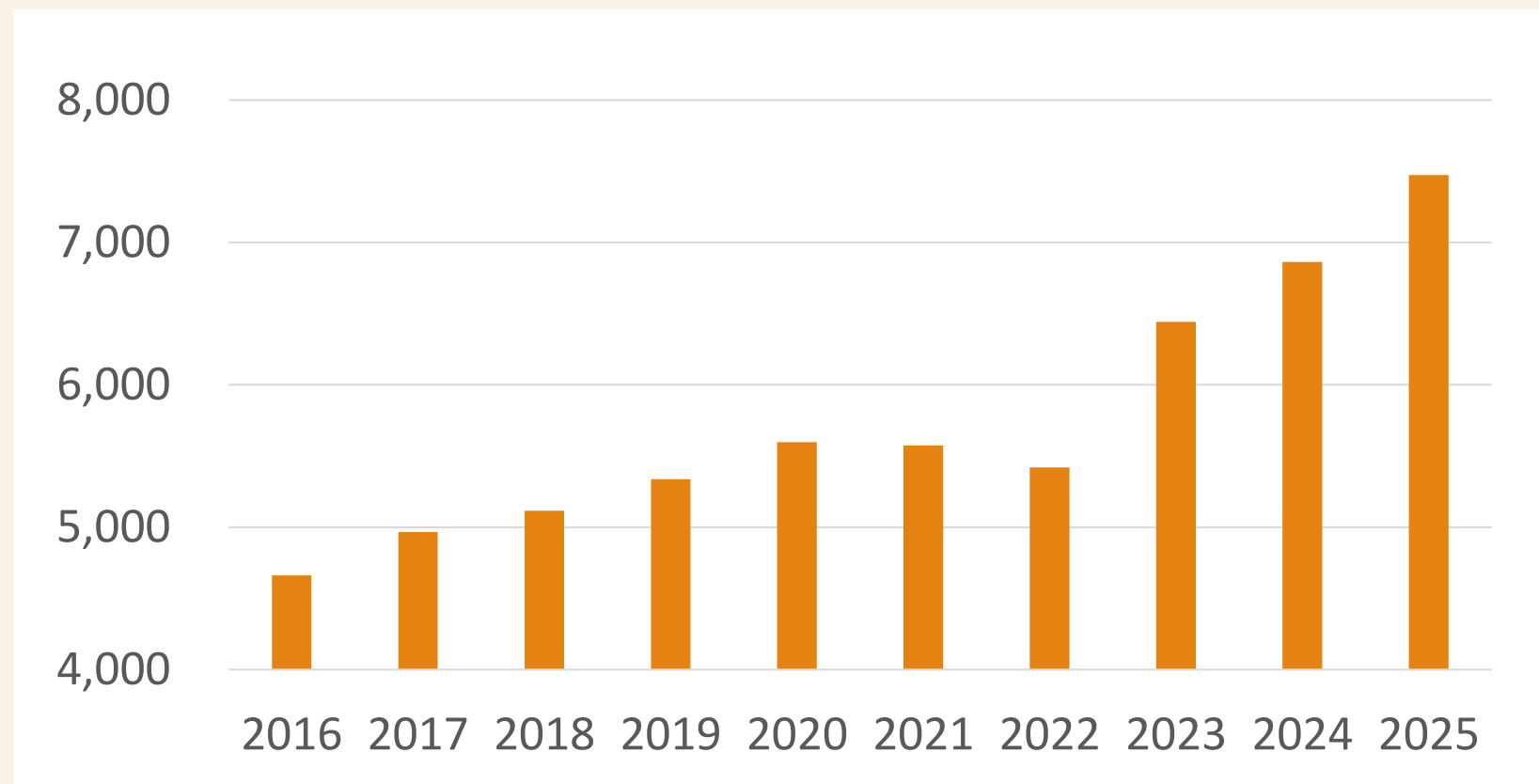
地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

日本語教室・日本語学習支援

吹田市 都市魅力部 文化スポーツ推進室
公益財団法人 吹田市国際交流協会



外国人市民数の推移

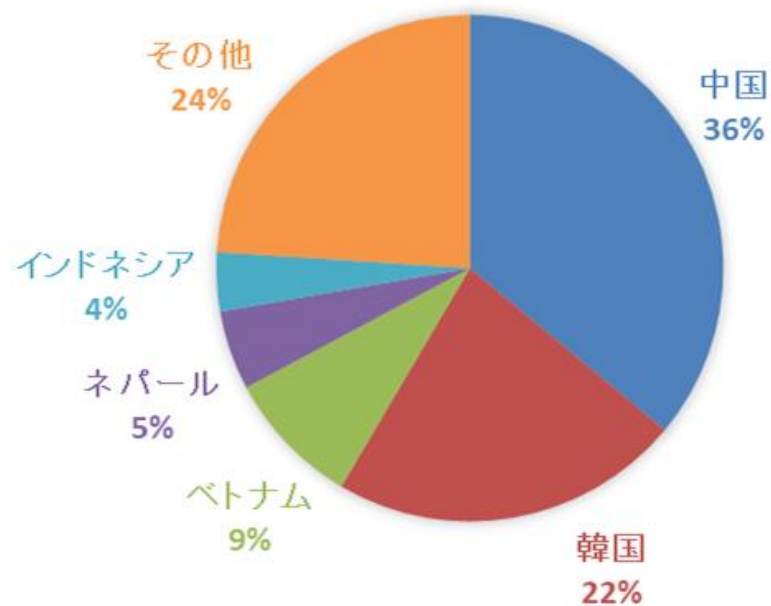


10年間で
約1.6倍！

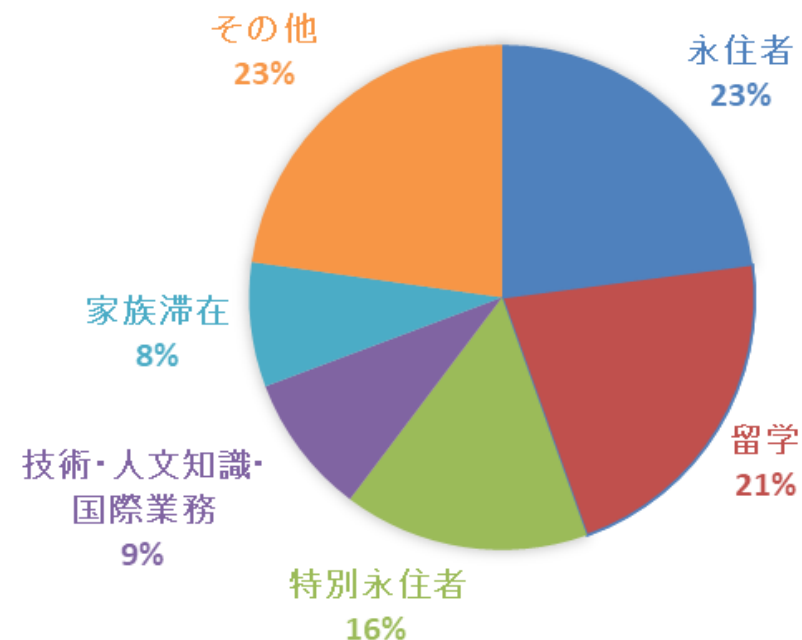
(4月1日時点)

令和7年度 外国人市民数の内訳

国籍・地域別



在留資格別



(令和7年4月1日時点)

吹田市多文化共生推進アクションプラン

目指すすがた	基本方針	具体的な施策
全ての市民が互いを尊重し、 ともに生きることを目指す	1 コミュニケーション支援	(1) やさしい日本語を含む多言語による 情報提供 (2) 日本語学習の普及・促進 (3) ワンストップ相談センターの充実
	2 日常生活における支援	(1) 子育て支援及び医療・福祉サービスの 提供 (2) 教育現場等における支援 (3) 防災・災害時対応
	3 多文化共生の地域づくり	(1) 地域で活躍する人材の養成 (2) 大学、関係機関と連携した 住みやすい環境整備

アクションプランに掲げる
 取組のうち、様々な取組を
 (公財)吹田市国際交流協会
 (通称:SIFA)とともに
 実施している。

事業の紹介（SIFAへの委託・補助事業）

委託事業（吹田市→SIFA）

- ① 日本語教室及び日本語学習支援業務
- ② 外国人等支援及び国際交流促進業務
 - ・吹田市多文化共生ワンストップ相談センター
 - ・子供の放課後居場所作り・学習支援
 - ・子育て支援（外国人等の親子に交流の場を提供）
 - ・防災減災（情報発信やイベント実施）
 - ・地域で活躍する人材の養成（ボランティア向け講座等）
 - ・多言語での情報発信
 - ・多文化共生講座 など
- ③ 行政通訳同行業務

補助事業（吹田市→SIFA）

- ① 病院への通訳同行事業
- ② 国際理解事業
- ③ 多文化まつり

それぞれの取組間で連携して
支援している

日本語教室及び日本語学習支援

日本語教師によるクラス と ボランティアによるクラス を実施。

(参考) 仕様書抜粋

外国人市民数の増加等、日々状況が変化している中、吹田市における多文化共生社会の実現を目的に、日本語教育の更なる充実やコミュニケーション支援の推進を図る。具体的には、短期間で一定レベルの日本語による会話スキルを習得できる日本語教師有資格者による日本語教室や、日本語交流活動を通じて理解度や希望に合わせスキルアップすることが可能な日本語ボランティアによる個別・小人数の日本語学習を実施する。

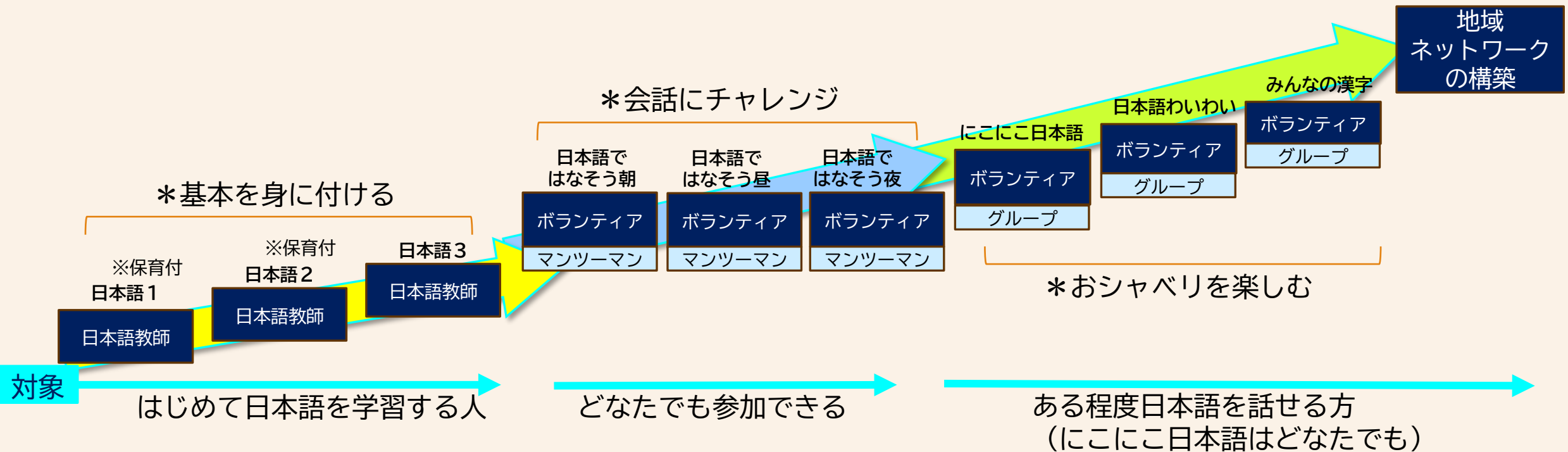
併せて、日本語学習の支援だけでなく、日常生活に必要な情報の提供や、行政が実施する外国人等を対象とした支援などの情報提供についても行う。

	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
延べ参加者数	4,207人	4,624人

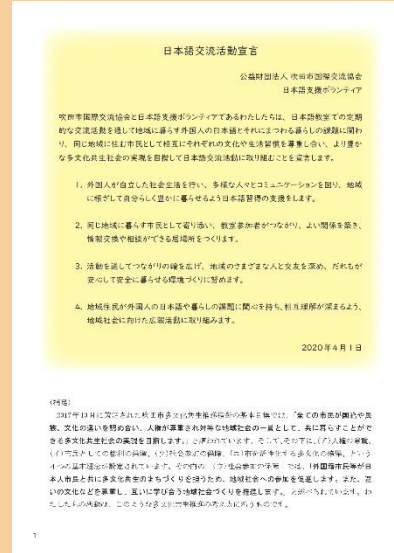


日本語教室の参加者数は近年増加傾向である。

- ◆STEP1 『日本語1から3まで』 : 日本語教師による教室（初心者）
- ◆STEP2 『日本語でなはそう朝・昼・夜』 : マンツーマン（または、1対2）による活動
- ◆STEP3 『にこにこ日本語』『日本語わいわい』 : 吹田市の情報、日常会話、漢字などのテーマに特化したグループ活動
『みんなの漢字』



日本語交流活動宣言



日本語事業の目的を明示し、基本理念を地域にも発信していきたいとの思いから、宣言として掲げている。

1. 外国人が自立した社会生活を行い、多様な人々とコミュニケーションを図り、地域に根ざして自分らしく豊かに暮らせるよう日本語習得の支援をします。
2. 同じ地域に暮らす市民として寄り添い、教室参加者がつながり、よい関係を築き、情報交換や相談ができる居場所をつくりまします。
3. 活動を通してつながりの輪を広げ地域のさまざまな人と交友を深め、だれもが安心して安全に暮らせる環境づくりに努めます。
4. 地域住民が外国人の日本語や暮らしの課題に関心を持ち、相互理解が深まるよう、地域社会に向けた広報活動に取り組みます。

ご参照
ください



日本語事業の内容

日本語 1・2・3

登録日本語教員による、体系的な日本語指導を実施。

日本語発表会

学習成果の発表や地域住民との交流を図る機会として、日本語教室に通う学習者の成果発表会を実施。

保育 ※日本語 1・2

受講中の学習者が安心して学べるよう、お子さんを安全に預かる保育支援を実施。

日本語 1・2・3



講師による
日本語教室

日本語発表会



日本語学習者の
発信の場

保育 ※日本語 1・2のみ



受講中の学習者のお子
さんを預かる保育支援

日本語事業の内容

ボランティアクラス

- 市内の外国人住民を対象に、生活に必要な日本語習得を支援する事業
- 国際交流ボランティアが主体となり、日本語交流・学習支援を実施
- 外国人住民の生活安定、地域定着、多文化共生の推進を目的とする
- 日本語学習を通じ、外国人住民と地域住民の交流促進を図る

日本語ではなそう



「1対1」
による活動

にこにこ日本語



レベル別
グループ活動

日本語わいわい



グループ活動

みんなの漢字



生活場面に密着した
漢字の読み書き活動

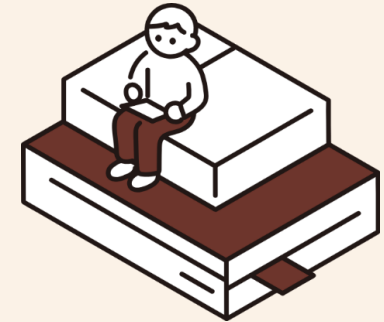
学習者の声

1. 在籍中の学習者の声

「保育があることで、受講中も安心して日本語学習に取り組むことができている。」
「学習者が友人に教室を紹介するなど、学習環境の魅力を広めている。」

2. 教室通学前後の変化

「教室に通うことで、共通の趣味を持つ仲間と交流が生まれた。」
「日本語で自己表現ができるようになった。」



3. 元学習者の支援参加

4名の元学習者が、支援者として日本語事業に参加している。
「自分自身の経験を活かし、学習者の皆さんが目標を達成できるようにサポートしたいと考えている。」
他に3名の元学習者が、ボランティア交流会（※年に2度開催）のゲストスピーカーとして登壇し、学習者の成長や経験を共有している。
「失敗談も含めてありのままの経験を語ることが、支援者の方々にとっても、より良い活動を進めるためのヒントになれば嬉しい。」

今後の課題と展望

1. 日本語学習の支援者育成・活動基盤の強化

元学習者や国際交流ボランティアを含む支援者の育成体系について、今後さらに見直しをしながら、継続的に活動できる基盤を強化をしていく。

2. 多文化共生や国際交流関係事業との連携

吹田市多文化共生ワンストップ相談センターとの連携による支援や、日本語教室学習者が他事業へ参加できる仕組みづくりの構築等、今後も連携しながら実施していく。

3. 持続可能な地域ネットワークの構築

教室で生まれたつながりを基盤に、在住外国人を含む地域住民間の持続的なネットワークを育成していく。

